
大好きやったひと

美雪

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大好きやったひと

【Nコード】

N5272A

【作者名】

美雪

【あらすじ】

だいぶ前の話やけど、あたしには大好きなひとがおってん。叶わなかった恋の話、聞いてくれへん？

大好きなひとがいてん。

あたしは、そのひとのことほんまにほんまに、好きやってん。

照れ屋なあたしは素直になれなくて、そのひとと喋る時は悪態ばっかついてた。

ある時

『お前口悪すぎるんちゃう』

ってだけ言ってそのひとがどっかいつちゃってな。

あたし強がっても気にしないでびりな上に泣き虫やねん。

すごいシヨックでなんか勝手に涙でてきて…

どうしようもなくなって勢いでメール送ってん。

『ごめん』ってだけ打って。

速攻でメール返って来てな、

『はあ？なんの話よ？笑』

って。

気抜けて余計涙とまらなくなったわ。

次の日学校で会ってあたしすごい勇氣出してさあ、ゆってん。

『あんな、あたし口悪いからめっちゃキツイことゆってまっけど全然本心とちゃうから』
って。

『わかってるわ、そんなん。俺のことアホやと思ってるんか？』

笑いながらそのひとはゆいはった。

当たり前のことやん、て顔して。

嬉しくて嬉しくて、あたしその日1日笑ってた。

だんだん時間たつにつれてあたしの気持ちは大きくなって、押さえられなくなっていくた。

『大好きやねん』

そしてとうとうあたしは気持ちをぶつけた。

ほんま驚いた顔したあとあのひとは困った顔してゆいだった。

『めっちゃ嬉しいわ。ほんま嬉しいで。そやけど…お前とはずっと友達でいたいねん』

わかってた答えでも実際聞くとショックやねんな。それでも必死で笑顔作ってゆった。

『じゃあないなあ。友達でいたるわ』

ほんま素直ちやうやる。

それでもあのひとはあたしが涙こらえてるんなんかお見通しやった。

そんで、それに気づかんふりしてほしって思ってたのも。

『ほんま可愛くない女やなあ』

わざと大袈裟にあきれたふりしてくれはった。

あたしの涙見んように背中向けてくれはった。

『俺、お前彼女にはしたれへんけど、大好きやで』そうゆうとあのひとは振り返らんで行きはった。

あたしの大好きなひとの話はここでおしまい。

だいぶ前の話やのに今でも思いだす度、胸の奥のところが痛くなってもなんか暖かくなるねん。

きつとそれは、あたしがあのひとをほんまにほんまに強く好きやったからで、あのひとがあたしをちゃんと受け止めてくれはったからやと思うねん。

ひとをすっごい好きになってまうと、しんどいことも辛いこともおまけに涙もいっぱい出てくるけど、そんなん出た後に残るんは、ほんのちよっと強くなった自分と……暖かい想い出やと、あたしは思

9.5

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5272a/>

大好きやったひと

2010年11月20日03時20分発行